

歯周病は成人の8割の人がかかっている病気です。歯周病は**脳梗塞**や**心筋梗塞**、**糖尿病**、**誤嚥性肺炎**など**様々な全身疾患に影響を及ぼす**ことがわかっています。
お口の中だけではなく、身体にどのような影響があるのでしょうか。

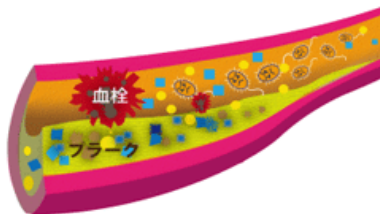


脳梗塞・心筋梗塞

動脈硬化により血液を送る血管が狭くなったり、ふさがってしまい血液供給がなくなり死に至ることもある病気です。

歯周病原因菌などの刺激により動脈硬化を誘導する物質が出て血管内にプラークが出来て血液の通り道は細くなります。

プラークが剥がれて血の塊が出来ると、その場で血管が詰まったり血管の細いところで詰まります。



糖尿病

歯周病は糖尿病の合併症の一つと言われてきました。糖尿病の人はそうでない人に比べて歯周炎にかかっている人が多いという調査が報告されています。最近、**歯周病になると糖尿病の症状が悪化する**という逆の関係も明らかになってきました。

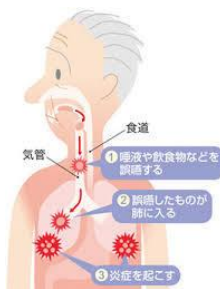
歯周病治療で糖尿病も改善することも分かっています。



誤嚥性肺炎

誤嚥性肺炎とは、食べ物や異物を誤って気管や肺に飲み込んでしまうことで発症する肺炎です。高齢になると機能が衰えるため、食べ物と一緒に口の中の細菌を飲み込み、むせたりすると細菌が気管から肺の中へ入ることがあります。

誤嚥性肺炎の原因となる細菌の多くは、歯周病菌であると言われており、誤嚥性肺炎の予防には歯周病のコントロールが重要になります。



メタボリックシンドローム

メタボリックシンドロームは、ウエスト周囲が男性で85cm、女性で90cm以上を基盤とし、さらに、1)血中脂質異常、2)高血圧、3)高血糖の3項目のうち2つ以上に異常所見が見られる病気です。

メタボリックシンドロームが進行している人は歯周病のリスクが高まることが知られています。



狭心症や心筋梗塞、糖尿病、誤嚥性肺炎などの全身疾患の予防には適切な「**食事**」と「**運動**」がとても大切です。そして、それを支えるのが「**歯の健康**」なのです。特に50歳以降では歯周病が悪化して歯を失うことが多く、高齢期の食生活に大きな支障を起こします。歯科医院でしっかりと歯周病を予防して健康な身体を作りましょう。